

令和4年度 自己評価アンケートまとめ
 社会福祉法人ほどがや ゆめっこらぶ

職員による自己評価(抜粋)

- ・利用者数が急激に増えたことで活動スペースが以前より手狭になったが、屋外活動を取り入れたり、2フロアを活用して、利用者が安全に安心して過ごせるよう環境面での工夫を行った。
- ・職員数は法定数はクリアしているが、実感として不足の状態と言える。
- ・短い時間の利用でも活動内容を工夫した。工作やカードゲームを職員も一緒に取り組むことができている。
- ・父母会や地域の児童館との交流は未実施となっている。
- ・個別面談については希望された方のみ対面で実施。それ以外の方については書面での聞き取りを行った。

保護者による評価(抜粋)

- ・利用者数が増えたこともあり、ややスペースが狭く感じる。
- ・職員配置や専門性は適切である。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流の必要性はあまり感じない。
- ・営業時間以外の連絡方法が知りたい。
- ・連絡帳を見落とす不備が何度か見られた。
- ・子どもの発達や課題に対して共通理解ができている。
- ・子どもは(利用者)は通所を楽しみにしていて、事業所の支援にも満足している。



事業所内での分析

【共通点】	【相違点】
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のスペースにはやや手狭感を感じる。 ・放課後児童クラブや児童館との交流はあまり必要ない。 ・父母会の実施の必要性もあまり感じない。 ・子ども(利用者)の発達状況や課題について相互に話し合いが持たれ、共通理解ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者人数に対する職員数が現場としては不足していると感じる。 ・希望者のみ対面面談は行えたが、次年度は従来通り全保護者との対面面談を行いたい。

事業所の強み

- ・事業所の統合があったが、どちらの事業所にも所属経験のある職員がいる事で利用者に関する引継ぎがスムーズに行えた。
- ・統合後もそれぞれの事業所で行っていた良いところを上手く取り入れる事ができ、それに対して利用者もすぐに順応できていた。

事業所の改善点

- ・人材不足がひとつの課題で募集はかけているものの思うように補充ができず、最終的な固定はできていない。
- ・運転ができる職員の確保が難しく、特に学校送迎の時間帯は特定職員が出る事になってしまっている。

事業所の改善への取り組み

- ・だいぶコロナウイルスも落ち着いてきて、日常が戻りつつあるため、これまで取り組めていなかった余暇活動や長期休暇中の過ごし方を改善(以前の用プールなど)していきたい。
- ・職員の確保を順次進めていくと共に、職員育成にも力を入れ、支援、活動の質を上げていきたい。

アンケート配布数	アンケート回収数	回収率
----------	----------	-----

35	17	48.6%
----	----	-------